

2007年1月15日

会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 取締役社長 鈴木 弘治
 コード番号 8233

2006年12月度 高島屋営業報告

【総計】(前年対比、単位：%)

株高島屋計	分社4店含む実質
△2.9	△2.6

12月度は百貨店事業、広域事業ともに低迷し、分社4社含む実質では△2.6%と2か月連続で前年売上実績を下回った。

※分社4店とは、関西地区の岡山高島屋・岐阜高島屋・米子高島屋、関東地区の高崎高島屋です。

【百貨店事業概況】(前年対比、単位：%)

分社4店除く	18店計
△2.5	△2.3

百貨店事業は、前年の厳冬の反動等により、特選衣料雑貨や紳士・婦人衣料、防寒アイテムの雑貨の動きが鈍く、18店計では15か月ぶりに前年実績を下回り△2.3%となった。

【店舗別概況】(前年対比、単位：%)

関西地区	大阪店	京都店	泉北店	岡山高島屋	岐阜高島屋	米子高島屋
売上高	△4.9	+0.8	+0.5	△4.5	+5.6	+4.2
入店客数	△6.1	△0.0	△0.1	△9.2	+7.1	△3.2

関西地区合計	
分社3店除く	9店計
△2.5	△2.0

※大阪店の売上高には和歌山店・堺店の売上高を、京都店の売上高には洛西店の売上高をそれぞれ含みます。

※大阪店・京都店の入店客数はそれぞれ単店になります。

関東地区	東京店	横浜店	新宿店	玉川店	立川店	大宮店	柏店	高崎高島屋
売上高	+0.1	△3.3	△7.4	△0.1	△2.1	+1.0	△2.8	△0.7
入店客数	△2.4	△4.3	△5.0	△2.4	△5.3	△3.5	△6.5	△7.0

関東地区合計	
分社1店除く	9店計
△2.5	△2.5

※横浜店の売上高には港南台店の売上高を含みます。

※横浜店の入店客数は単店になります。

関西地区では9店中5店が前年売上実績を上回ったが、地区計の売上は△2.0%で前年実績には至らなかった。大阪店は子供服、美術等が前年実績をクリアしたが、婦人服や特選衣料雑貨、食料品など主力商品群が伸び悩んだ。京都店はリニューアルで強化したレストラン街の他、婦人服、宝飾品等が売上を伸ばし5か月連続で前年実績をクリアした。泉北店はリニューアル効果が持続する婦人服、婦人雑貨が好調で4か月連続で前年実績を上回った。関東地区では9店中2店が前年売上実績を上回ったが、地区計の売上は△2.5%で前年実績には至らなかった。東京店は、婦人服や宝飾品が伸び悩んだが、紳士服、特選衣料雑貨、食料品等が売上を伸ばし、8か月連続で前年実績をクリアした。横浜店は特選衣料雑貨や宝飾品等の高額商品群をはじめ、全般的に伸び悩んだ。新宿店はリニューアルをした呉服が前年実績を2桁上回ったが、特選衣料雑貨や紳士・婦人服などは低迷した。お歳暮ギフトセンターは10月の各店立上り以降の累計売上が前年実績を約5%(18店計)、「おせち」は同じく約6%、上回って推移した。

【広域事業概況】(前年対比、単位：%)

	法人事業	通販事業	広域事業計
売上高	△14.9	+1.3	△8.2

法人事業は、前年実績のある大型物件の企画中止や規模の縮小、売上計上のズレ等が響き、前年売上実績を大きく下回った。通販事業は、「おせち」が好調に推移した食料品のほか、婦人服・雑貨が前年実績を上回った。

【商品別概況(百貨店協会商品区分)】(前年対比、単位：%)

	株高島屋計	分社含む実質
紳士服・洋品	△4.5	△4.4
婦人服・洋品	△2.3	△2.1
子供服・洋品	△0.4	△0.5
その他衣料品	△7.0	△6.5
衣料品計	△3.2	△3.0

	株高島屋計	分社含む実質
身のまわり品	△7.0	△6.9
家具	△11.2	△10.6
家電	△3.6	△4.7
その他家庭用品	+0.5	+2.0
家庭用品計	△2.6	△1.5

	株高島屋計	分社含む実質
食料品	△0.3	△0.2
食堂・喫茶	+4.0	+3.2
雑貨	△4.8	△4.4
サービス	+22.2	+20.9
その他	△2.9	△2.9
合計	△2.9	△2.6

〈当社分類による百貨店事業の商品別概況(臨時・特注を除く)〉

紳士服(前年対比△3.3%)は、暖冬の影響を受けてアウターアイテムではウールコートが低迷。また、インナーアイテムでは薄手のハイゲージニットに動きが見られたものの、セーターは全般的に伸び悩んだ。婦人服(同△2.6%)ではトレンドアイテムのロングコートが好調な反面、主力のジャケットやセーターは精彩を欠いた動きとなった。婦人雑貨(同△1.9%)では、ロングブーツが引き続き好調。一方、帽子や手袋、マフラー等の防寒アイテムや婦人アクセサリーは低迷した。そのほか、食堂(同+3.3%)、美術(同+3.2%)が前年実績を上回り、紳士雑貨(同△7.7%)、特選衣料雑貨(同△7.4%)、宝飾品(同△3.7%)、食料品(同△0.4%)等は前年実績に至らなかった。